

# やまとの 未来の学園づくり かわら版

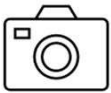
## 第3回学校運営部会「目指す学園像」

日時：令和5年3月14日（火）18:00～19:30

場所：光市立大和コミュニティセンター



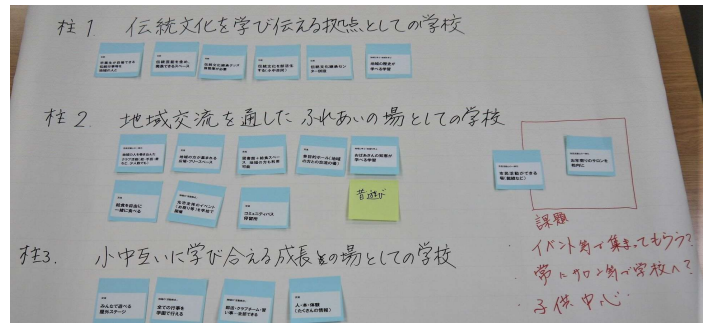
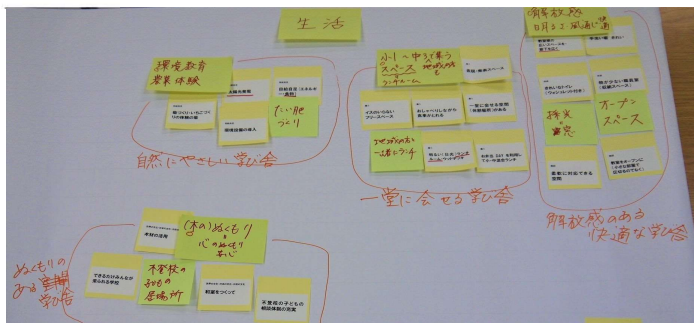
子どもワークショップと第4回ワークショップでいただいた「学び」「生活」「共創」に関する意見について、3つのグループに分かれて考察を深めました。今回の学校運営部会では17名の出席がありました。



### グループ協議の成果

### 本日の協議内容

「学び」「生活」「共創」の各領域の柱になる項目について考察する。



#### 生活

- 柱1 めくもりのある学び舎
- 柱2 開放感のある快適な学び舎
- 柱3 一堂に会せる学び舎
- 柱4 自然にやさしい学び舎

#### 共創

- 柱1 伝統文化を学び伝える拠点としての学校
- 柱2 地域交流を通じたふれあいの場としての学校
- 柱3 小中互いに学び合える成長の場としての学校

#### 学び



#### 学び

- 柱1 小・中学生と地域の人々がつどい学び合う空間
- 柱2 個(子)に応じて学びを深める空間
- 柱3 学びの成果を発信できる空間



「新たな学び舎」に必要な10の「柱」が提案されました。

## 第4回執行委員会「目指す学園像」

日時：令和5年3月22日（水）18:00～19:30

場所：光市立大和コミュニティセンター

報告書 QR コード ▶



## 第4回執行委員会の内容

第4回ワークショップと第3回学校運営部会の報告、学校運営部会の報告書「目指す学園像」案の説明を受けて質疑応答を行いました。執行委員会で出された質問や意見を踏まえて準備委員会としての報告書を作成し、3月24日に教育長に提出しました。

### 執行委員会で出された質問・意見

- たくさん目標を掲げたが、全てを網羅することは難しいと思う。その場合に何を選択していくのか。
- 学校を中心に地域の未来をどう作っていくのかを考えてほしい。
- 場所の移動によって、子どもたちに精神的負担がかからないように考慮してほしい。
- 複式学級の解消をスピード感をもってしてほしい。

### 準備委員会報告書のまとめ

- 「理想のやまと学園」についての協議では、子どもたちの「学び」と「育ち」を中心に幅広い視点から意見が出され、新たな学園に対する期待や希望を感じさせる学園像が描かれた。
- 「やまと学園の学び舎の姿」についての協議では、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）を参考に検討した。
- 「学び」については、「小中学生と地域の人々がつどい学び合う空間」、「個（子）に応じて学びを深める空間」、「学びの成果を発信できる空間」の3つが施設整備の柱として挙げられ、これらの機能の充実が図られるとともに、3つの柱が相互に作用しながら児童生徒の豊かな学びにつながっていく教育環境を目指すことが重要である。
- 「生活」については、「不登校のない学校」や「オンリーワンの学校」を目指し、「ぬくもりのある学び舎」、「開放感のある学び舎」、「一堂に会せる学び舎」、「自然にやさしい学び舎」の4つが施設整備の柱として挙げられた。
- 「共創」については、「伝統文化を学び伝える拠点としての学校」、「地域交流を通じたふれあいの場としての学校」、「小中互いに学び合える成長の場としての学校」の3つが施設整備の柱として挙げられた。これらの活動が実現できる空間の工夫とともに、地域住民が学校へ行き来するための交通手段についての検討も必要である。
- 「目指す学園像」についての協議は、学校を中心に地域の未来をどうつくっていくかを語る時間でもあった。地域の未来を担うのは子どもたちであり、子どもたちの学びを第一に考えることは、地域の幸せを考えることでもある。



松田アドバイザーからコメント

小中一貫教育の第一義は子どもたちの学びではありますが、大和地域の未来をどう創っていくのかを当事者として強く想われ、熱く議論を重ねてこられた5か月だったと思います。皆様方が議論してこられた「目指す学園像」に向かって、令和5年度以降も子どもたちの未来のため、大和地域の未来のために、引き続き活発な協議が展開されることを期待しております。

## 令和4年度に準備委員会で協議・報告した施設一体型小中一貫やまと学園「3大テーマ」

1 学園の場所

2 協働的な学びの確保

3 目指す学園像

### 準備委員会の報告を踏まえた市の決定事項

#### 1 現在の『大和中学校』の位置

- ①既に学校運営が行われており、地域に慣れ親しまれているため、地域の見守りなど安全面での課題が少なく、新しい学園への円滑な移行が見込まれる
- ②敷地やグラウンドの形状が整形で比較的広い
- ③地理的に大和地域の中心に位置するため、通学距離がどの地域からも6km以内(中学校)である  
※小学校は4km以内が通学目安
- ④山・川・田などの自然学習環境に恵まれている

#### 2

「やまと学園」の新設に先行して、小学校を再編することについても検討する。

#### 3

施設整備基本計画の策定における考え方の基本とし、ワークショップ等でいただいた様々な意見等も含めて、今後の各部会での協議に活かしていく。

お問い合わせ：光市教育委員会 教育総務課やまと学園推進係（担当：石川）

T E L : 0833-74-3601 F A X : 0833-72-7202